

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 相互作用系を活用したサンプリング手法の開発

2. 個人研究者名

二見 太（日本電信電（株）NTT コミュニケーション科学基礎研究所 研究員）

3. 事後評価結果

本研究は、並列なランジュバンダイナミクスの間に適切な相互作用を取り入れ、位相空間をより効率的に探索できるようなアルゴリズムを開発することにより、定常分布への収束の高速化や誤差の減少を狙うものであった。

研究期間中に、収束の加速が発生するための十分条件の導出や、その条件を満たす相互作用を構成するアルゴリズムの開発、モデルのばらつきに関する情報を自然に取り込んだ新しい汎化誤差上界の不等式の導出等を行った。これらの成果は当該分野のトップカンファレンスに採択されており、大きなインパクトを与えたと考えられる。

今後の展開としては、当該分野だけでなく、関連する様々な幅広い分野にも波及効果を与えるような研究に発展していくとさらにすばらしいと考える。